

## 村落社会研究会第二六回大会開催地について

昨年十月柳川市における第一回大会において、次期開催予定地について山梨大学で斡旋するよう委嘱されたのであるが、かつて山梨大学で開催地斡旋をお引き受けした折と比べると会員が大きく増加しており、柳川大会の如く一三〇名という参加者があるとすれば到底山梨県内にはそれを収容しうる会場がなく、直ちに御返事ができなかつた。大会後直ちに県内の施設を調査し、一〇〇名以上ないしはそれに近い人數を収容しうる施設を二、四当つてみた結果、河口湖町の富士桜荘が、最も適当と判断したので、五十三年度の村研大会開催予定地として交渉を進めていることを御報告する次第である。

富士桜荘は富士山北麓、富士五湖の一つ河口湖の南側にあり、人里離れた樹海の中に新しく建設された壮大な場所で、研究大会開催会場としては最適であると思ふ。窓の外には雄大華麗な富士があり、朝夕の色彩は勉強の疲れを癒してくれるであろう。施設も十分であり、会員諸賢の研究発表、討論の場所としてほぼ満足していただけると思つてゐる。振るって御参加をお願いする。追つて詳しい御案内を差上げ、御参加の有無などについてのアンケートをとりたいと思います。

日時 昭和五三年一〇月二五日（水）

午前九時より六日（木）午後四時

会場 山梨県南都留郡河口湖町船津<sup>ふなづ</sup>三ノ段

地方職員共済組合富士保養所富士桜荘

（服部・塩入・似田員担当）